

第19回

令和7年度 西尾市中学生

リーダー養成塾報告書

カケル

～仲間と共に未来へ～



令和7年12月25日（木）～28日（日）
トヨタ白川郷自然学校

認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾
西尾市中学生リーダー養成塾実行委員会
西尾市教育委員会

第19回 令和7年度 西尾市中学生リーダー養成塾 報告書

《 目 次 》

《実行委員名簿》

未来に向かうリーダーたちへ	塾 長 (株式会社あいや 専務取締役)	杉 田 明 弘	1
未来のリーダーたちへ	団 長 (鶴城中学校 校長)	半 田 憲 生	1
未来へ『カケル』 第一歩	引 率 (鶴城中学校 教諭)	尾 崎 拓 也	2
仲間とともに『カケた』 4日間	引 率 (鶴城中学校 教諭)	黒 部 愛 里 咲	2
信頼されるリーダーを目指して	引 率 (株式会社オディックス)	神 谷 和 広	3
4日間の気づきを、それぞれの形に	引 率 (西尾市教育委員会学校教育課 指導主事)	朝 倉 大	3

《日 程 表》

4～13

リーダーとしての貴重な経験	西尾中学校	14
自分の目指すリーダー像に向けて	西尾中学校	15
新たな気づきを得たリーダー養成塾	西尾中学校	16
仲間と共に	西尾中学校	17
「仲間」を大事にするリーダー	鶴城中学校	18
自分らしいリーダーへの道	鶴城中学校	19
仲間と成長できた4日間	鶴城中学校	20
29人の個性を掛け合わせ、前へ進めた4日間	鶴城中学校	21
新たな視点をくれたリーダー養成塾	平坂中学校	22
自分のリーダー像を見つける第一歩	平坂中学校	23
リーダーに必要なものとは	平坂中学校	24
新たな一歩をくれたリーダー養成塾	平坂中学校	25
リーダー養成塾での気づきと次への課題	寺津中学校	26
終わりではなく始まりとして	寺津中学校	27
変わった自分	福地中学校	28
リーダーとして、これから	福地中学校	29
自分の考えを変えてくれたリーダー養成塾	東部中学校	30
新たなスタートをくれた4日間	東部中学校	31
理想のリーダーになるために	一色中学校	32
理想のリーダーの変化	一色中学校	33
必要なことのその先へ	一色中学校	34
「弱さ」を認める勇気が生む、真のリーダーシップへの道	一色中学校	35
僕の“カケル”は終わらない!!	吉良中学校	36
自分が目指すリーダー像への道を標してくれた4日間	吉良中学校	37
一人一人の個性を大切にするために	吉良中学校	38
個性と仲間の尊さ	吉良中学校	39
「人」としても成長させてくれたリーダー養成塾	幡豆中学校	40
理想のリーダー像へ一歩ずつ	幡豆中学校	41
信頼されるリーダーに	佐久島しおさい学校	42

令和7年度西尾市中学生リーダー養成塾実行委員会

役職名	氏 名	備 考
顧 問	中村 健	西尾市長
委員長	稲垣 寿	西尾市教育委員会 教育長
委員(H18塾長)	小田井博茂	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事長 (株)オティックス 代表取締役会長
委員(H21、R7塾長)	杉田 明弘	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾副理事長 (株)あいや 専務取締役
委員(H20、R6塾長)	柴田 高広	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾副理事長 柴田工業(株) 代表取締役社長
委員(H27、29塾長)	山崎 克弥	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾副理事長 山旺建設(株) 代表取締役社長
委員(H28塾長)	高須 光	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾監事 高須会計事務所公認会計士・税理士
委員(H22、R5塾長)	稲垣 良次	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 (株)イナテック 代表取締役会長
委員(H25、R元塾長)	鳥山 欽示	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 (株)はと屋 代表取締役社長
委員(H24、R3塾長)	石川 哲朗	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 (株)悠峰写真場 代表取締役会長
委員(H23、R4塾長)	小澤 育史	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 小沢歯科クリニック 顧問
委員(H26、30塾長)	辻村 和敏	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 辻村工業(株) 代表取締役会長
委 員	浅岡 直幸	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 西の町ポリ(株) 代表取締役社長
委 員	杉浦 竜基	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 (株)杉浦鉄工所 代表取締役
委 員	藤井 健一	西尾市教育委員会 学校教育課長
委 員	齋藤 茂樹	平坂中学校 校長(令和6年度団長)
引率者	半田 憲生	鶴城中学校 校長
	尾崎 拓也	鶴城中学校 教諭
	黒部愛里咲	鶴城中学校 教諭
事務局	神谷 和広	(株)オティックス 総務人事部
	池田 正広	西尾市教育委員会 指導主事
	朝倉 大	西尾市教育委員会 指導主事

中学校担当者

西尾中学校	前田 元紀	東部中学校	小原 絵里
鶴城中学校	尾崎 拓也	一色中学校	後藤 正成
平坂中学校	齋藤 千花	吉良中学校	村田 忠儀
寺津中学校	山里 知弘	幡豆中学校	手嶋 智宏
福地中学校	小林 弁三	佐久島しおさい学校	宮川 周

未来に向かうリーダーたちへ

第19回西尾市中学生リーダー養成塾長

株式会社あいや 専務取締役 杉田 明弘

リーダー養成塾の塾生の皆さん、3泊4日の研修と実践はいかがでしたでしょうか。西尾とは環境の違う場所で初めての体験や市内の友達との交流を通して多くの成果を得たことと思います。

さて、実行委員の私たちも常に社会や会社のリーダーとして多くの課題に挑み、一つずつ解決してきました。それでも、新たな課題がまるでリーダーへの挑戦のように生まれてきます。それはきっとリーダーでなくても、そこから逃れられない人間の生きるための使命のようなものかもしれません。皆さんにも、これから多くの挑戦しなければならない場面が現れてきます。そんなとき、今回のリーダー養成塾での経験や一緒に行動した友人たちを思い出し、逃げることなく課題や目標に向かって突き進んでいただきたいと思います。

あなたたちの周りには多くの友達、そして何より優しい家族がいます。人から「君には出来るわけがない」と言われたことをやってのけたときに最高の喜びです。何事にも大いに挑戦する日々を送ってください。また、リーダー一人では出来ることに限りがあります。人の上に立ちつつも、常に仲間と共に歩み続けることで、さらに新しい小さなリーダーを育てていこう。あなたの未来に向け、元気に楽しい毎日を送ってくれることを希望します。

最後に、常にご協力をいただいた学校教育課の皆様、引率の先生方、そしてご理解いただいたご家族の皆様に、深くお礼を申し上げます。

未来のリーダーたちへ

団長 鶴城中学校長 半田 憲生

今年度も西尾市リーダー養成塾実行委員会のご尽力により、第19回リーダー養成塾を実施することができました。関係の皆様方に心からの感謝を申し上げます。

29名の塾生の皆さんは、白川郷自然学校の研修プログラムを通して、リーダーとなるには何が必要かを学びました。苦労した雪のアーチ作りやPV作りでは、「自分が変わると、周りが動く」ことを体験しました。振り返ってみれば、信頼は、願うものではなく、自分の行動で勝ち取るもので、協力は、求めるものではなく、納得させて引き出すものだ、と実感できると思います。

皆さんが研修に臨んだちょうどその日に、愛知県の教育の在り方を示す「あいちの教育ビジョン2030」が発表されました。その基本理念には、「持続可能な社会の創り手」を育成するとあります。わたしは、皆さんが、誰もが豊かに生きていける社会を目指して、この「持続可能な社会の創り手」たちの先頭に立つリーダーへ、みんなの知恵と力を結集してさまざまな課題を解決していくリーダーへと、成長していくことを願っています。

どうしたらリーダーになれるのかと悩んだときは、この4日間を思い出してください。答えは、今回の研修で学んだ中にきっと見つかりますから。

未来へ『カケル』 第一歩

引率 鶴城中学校教諭 尾崎 拓也

事前研修会で時間いっぱいまで自分たちの想いを伝え合いながら決めた「カケル～仲間と共に未来へ～」というスローガン。そのスローガンどおり、目指すリーダー像に近づくために何が必要なのかを考えながら駆け抜けた4日間でした。「ナイトハイク」や「ガイドウォーク」で生き物の個性や違いを学ぶ中で、リーダーとはまとめるだけでなく、それぞれの個性を生かして集団を高めていくことが大切なのだと気づきを得た子、「PV作り」を通して、リーダーとは、誰かに支えられているからこそ活動ができていると気づき、自分たちのために行動してくれている人がいることへの感謝を忘れずにいたいと学びを深めた子など、さまざまな場面で一つでも多くのことを吸収しようとする姿が見られました。

帰着式の中で一人一人が語った目指すリーダー像は、この4日間を通してより具体的になっていたり、見方・考え方が変化したりしていました。稲垣教育長が特別プログラムでおっしゃっていた「恐れず自分を変えていく力」。まさにその第一歩をこのリーダー養成塾を通して踏み出すことができたのではないかと思います。この出会い、学びを大切に、これから一人一人がそれぞれの場所でリーダーとして活躍する姿を楽しみにしています。

仲間とともに『カケた』 4日間

引率 鶴城中学校教諭 黒部 愛里咲

今回の4日間は、一人では経験できなかった貴重な時間となりました。仲間がいたからこそ、一人一人が多くのことを感じ、学びを深めていく姿が印象的でした。

研修中、「一回やってみようか」という言葉がさまざまな場面で聞かれ、互いの意見を尊重しながら挑戦する姿は、まさにスローガン『カケル』の柱である「成長・尊重・挑戦」そのものでした。特に最後のPV作りでは、思うように進まず心が折れそうになる場面もありましたが、意見を掛け合わせ、最後には納得のいく作品を完成させることができ、4日間の成長を感じられるものとなりました。

今後リーダーとして活躍していく中で、苦しい場面に出会うこともあるかもしれません。そんな時は、今回学んだことを思い出して突き進んでほしいと思います。そして、この経験を通して得た学びを胸に、自分たちの見つけたリーダー像に向かって、今後さらに『進化』していくことを心から期待しています。

信頼されるリーダーを目指して

事務局 株式会社オティックス 神谷和広

西尾市中学生リーダー養成塾に参加された29名の生徒の皆さん、4日間の研修大変お疲れ様でした。また、教育委員会の皆様、引率担当の鶴城中学校の先生方、本当にお世話になりました。

初日の雪のない真っ暗な森の中で行われたナイトハイクでは「野生動物の目線」を体感できたと思います。2日目は天候急変による一面の銀世界の中で、ガイドウォークでは「森の動物たちの知恵」を、スノーアーチ作りでは「共同作業の楽しさ・大切さ」などを学んでいただきました。そして、3、4日目のPV作りにおいて、1分という限られた時間の中で「いかにふるさと西尾の魅力を伝えるか」という、非常に難度の高い課題に取り組んでいただきました。途中の動画編集や台本作りでは、現地校のスタッフに何度もやり直しをさせられても挫けず、時間の許す限り練習を行い、本番に臨もうとする真摯な姿勢は、さすが各校代表される生徒の皆さんだと、深く感銘を受けました。

生徒の皆さん、今回の研修で学んだことを生かし、優しさと強さを兼ね備えた「信頼されるリーダー」を目指して、西尾市、ひいては日本のリーダーとしてご活躍されることを期待しています。

4日間の気づきを、それぞれの形に

事務局 学校教育課 朝倉 大

白川郷では、さまざまなプログラムに取り組みました。どのプログラムも、リーダーについて、考えを広げることのできる気づきを得られるものばかりでした。しかし、課題の提示はあっても、ねらいの明言はありません。体験の仕組みや、インタープリターが口にする言葉から、いかに自ら気づくことができるか、本人に委ねられているように感じました。心配に思いましたが、さすがは、各校より選ばれしリーダーの皆さん。4日間を通して見られた姿や、自分の新たなリーダー像について話すことばかり、たくさんの気づきを手にしたことを感じました。その気づきを、どんな形にしていけるのか、これからがとても楽しみです。

学校には、さまざまな思いや考えをもった仲間がいます。一筋縄ではいかないことも多いことでしょう。それでも、自分が気づいた大切にしたいことを行動に変え、挑戦していく皆さんであると思っています。この4日間に味わった思いを、全校生徒とも味わうことができるように、仲間を巻き込み、学校を動かしていくことを願っています。

日程：1日目

2025. 12. 25<木>

時刻	活 動 内 容	備 考
7:40	※ 集合前に家で検温、健康チェックカード Google Forms。	
7:50	○ 集合・点呼 ※乗車前健康観察（黒部）	・ 欠席連絡は7:00-7:20
	○ 出発式	・ 市役所北駐車場 （荒天時：多目的室）
	司会（尾崎）	・ 7:20より前に来ない。
	1 団長あいさつ（鶴城中 半田校長）	・ 服装は、各校の学校指定 ジャージ。
	2 塾生代表出発のことば（吉良中 ）	・ 防寒具着用可
8:00	○ バス乗車・出発	・ 集合しだい、出発式
	○ 鞍ヶ池PA トイレ休憩	
	○ ひるがの高原SA トイレ休憩	
11:40	○ トヨタ白川郷自然学校 到着	・ 交通事情により休憩、到着 の時間は前後する。
	・ 荷物を2Fの催事ホールに置き、レストランへ集合。	
12:00	○ 昼食	・ 財布を預ける。
	「いただきます」（101）	・ 食事のあいさつは一言添 える。
	「ごちそうさまでした」（101）	
13:00	○ 開塾式	・ 催事ホール
	司会（尾崎）	
	1 始めのことば（黒部）	
	2 リーダー養成塾塾長あいさつ（杉田明弘 塾長）	
	3 トヨタ白川郷自然学校代表あいさつ（天野 事務局長）	
	4 リーダー養成塾実行委員長あいさつ（稲垣 寿 委員長）	
	5 来賓紹介（朝倉）	
	6 塾生代表決意のことば（平坂中 ）	
	7 インタープリター自己紹介	
14:00	○ 特別プログラム【リーダーのあり方について】	・ 研修室
14:45	○ プログラム①	・ 研修室
	【相互理解の深化】	
	・ 部屋長は、研修の最後にルームキーを受け取る。	
17:00	○ 入室	・ 以後、基本はくつ移動。
17:30	○ 夕食	・ レストラン
	「いただきます」（102）	
	「ごちそうさまでした」（102）	
	・ 食事後、部屋へ戻って着替えをする。	
19:00	○ プログラム②	・ 催事ホールに集合
	【夜の森を感じるナイトハイク】	・ 野外
20:30	○ 入浴 ※浴場まではスリッパの移動可。	・ 天然温泉
21:00	○ 仲間との情報交流	・ 研修室
21:20	○ 健康観察、諸連絡	・ 研修室
	○ 就寝準備	
	◆ 事務局・スタッフミーティング	・ E108
22:00	○ 就寝	



出発式



開塾式



特別プログラム



プログラム①相互理解の深化



プログラム①相互理解の深化



プログラム①相互理解の深化



プログラム②ナイトハイク



プログラム②ナイトハイク

日程：2日目

2025. 12. 26<金>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○ 起床 ・ 起床時刻前に目が覚めても騒がない。	
7:00	○ 朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（103） 「ごちそうさまでした」（103） ○ 部屋の清掃	・ レストラン
8:30	○ プログラム③ 【森の生き物たちの知恵を学ぶガイドウォーク】 ※無積雪時はガイドウォークを30分延長する。	・ 研修室、野外
11:30	○ 昼食 「いただきます」（104） 「ごちそうさまでした」（104）	・ レストラン
13:00	○ プログラム④ 【グループの力を引き出すアクティビティ】 ※無積雪時は【焚き火に挑戦】に変更。	・ 研修室、野外 ※無積雪時： オープンハウス
16:10	○ 入浴	・ 天然温泉
17:00	○ 夕食【テーブルマナー】 「いただきます」（105） 「ごちそうさまでした」（105）	・ レストラン
19:00	○ プログラム⑤ 【自分と向き合う振り返り】	・ 研修室
19:45	○ プログラム⑥ 【PVづくりガイダンス】	・ 研修室
21:20	○ 仲間との情報交流 ○ 健康観察、諸連絡 ○ 就寝準備 ◆事務局・スタッフミーティング	・ 研修室 ・ E108
22:00	○ 就寝	



プログラム③ガイドウォーク



プログラム③ガイドウォーク



プログラム④スノーアーチ作り



プログラム④スノーアーチ作り



プログラム④スノーアーチ作り



テーブルマナー



プログラム⑤振り返り



プログラム⑥PVの作り方

日程：3日目

2025. 12. 27<土>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○起床 ・起床時刻前に目が覚めても騒がない。	
7:00	○朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（106） 「ごちそうさまでした」（106） ○部屋の清掃	・ レストラン
8:30	○プログラム⑦ 【ふるさと西尾を見つめなおすPV絵コンテづくり】	・ 研修室
10:00	○プログラム⑧ 【ふるさと西尾の魅力を伝えるPVづくり】	・ 研修室
11:30	○昼食 「いただきます」（201） 「ごちそうさまでした」（201）	・ レストラン
13:00	○プログラム⑧ 【ふるさと西尾の魅力を伝えるPVづくり】	・ 研修室
17:30	○夕食 「いただきます」（202） 「ごちそうさまでした」（202）	・ レストラン ・ 財布を配る。
19:00	○PV発表打ち合わせ ・打ち合わせが必要な班は、ここで最終打ち合わせを行う。 ・終了している班は館内で土産物を購入してもよい。	・ 研修室
20:30	○入浴	・ 天然温泉
21:20	○仲間との情報交流 ○健康観察、諸連絡 ○就寝準備 ◆事務局・スタッフミーティング	・ 研修室 ・ 財布を預ける。 ・ E108
22:00	○就寝	



プログラム⑦絵コンテ作り



プログラム⑦絵コンテ審査



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り

日程：4日目

2025.12.28<日>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○起床 ・起床時刻前に目が覚めても騒がない。	
7:00	○朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（101） 「ごちそうさまでした」（101） ○部屋の清掃 ○荷物整理	・ レストラン
8:30	○チェックアウト ・荷物は指示された場所へ運ぶ。	
9:00	○プログラム⑨ 【ふるさと西尾PV発表】	・ 研修室
10:00	○プログラム⑩ 【4日間の振り返り】	・ 研修室
11:30	○昼食 「いただきます」（102） 「ごちそうさまでした」（102）	・ レストラン ・ 財布を配る。
12:10	○修了式・閉塾式	・ 催事ホール ・ 服装は、各校の学校指定ジャージ。
	司会(尾崎) 1 始めのことば(黒部) 2 トヨタ白川郷自然学校代表あいさつ(山田俊行先生) 3 修了証授与(一色中 ……)※代表 4 塾生代表お礼のことば(寺津中 ……) 5 団長あいさつ(鶴城中 半田校長) 6 終わりのことば(黒部) ※記念撮影	・ トイレに行く
12:40	○出発 ○ひるがの高原SA トイレ休憩 ○美濃加茂SA トイレ休憩	
16:30	○帰着 ・帰着式はバス内で行う（全員から一言ずつ）。 ○解散	・ 市役所北駐車場



プログラム⑨PV発表



プログラム⑨PV発表



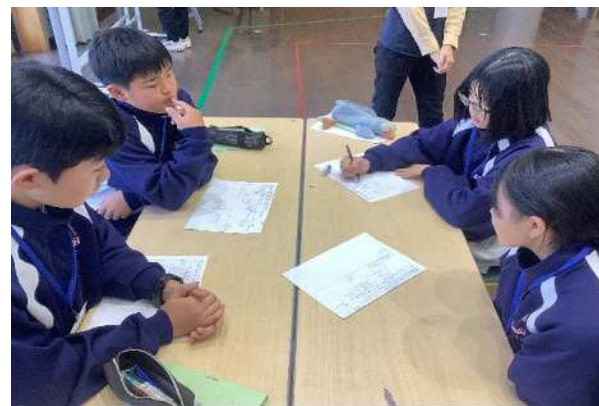
プログラム⑨PV発表



プログラム⑨PV表彰



プログラム⑩振り返り



プログラム⑩振り返り



修了式 修了証授与



閉塾式 塾生代表のことば





リーダーとしての貴重な経験

西尾中学校

ときどきとわくわくで始まったリーダー養成塾。僕はこの貴重な4日間で、特に3つのことを学びました。

1つ目は、仲間とコミュニケーションをとるということです。いろんな学校から集まってきた仲間たち。はじめは緊張していて、あまりよい雰囲気ではなく、僕も少しやりにくいなと感じていました。しかし、相互理解の深化のプログラムを通して、仲間と話し合ったり、協力したりして絆を深めました。すると、自然にコミュニケーションをとることができるようになり、仲間の緊張も解け、笑顔が増えていきました。僕は、コミュニケーションをとることで、ここまで雰囲気を変えることができるんだと実感することができました。

2つ目は、自分の意見だけではなく、仲間の意見を大切にしながらまとめていくということです。これは、PV作りを通して気づくことができました。僕たちの班は、自分の意見を出すことはできていました。しかし、仲間の意見を聞くことがあまりできていなかったり、それをまとめる人がいなかったりして、無駄な時間を費やしてしまいました。その影響か、PV作りも全員が納得できるものになりませんでした。これからは自分が意見を出すことはもちろん、仲間の意見をしっかり聞き、まとめていけるようにしたいです。

3つ目は、多人数でのメリットとデメリットについてです。僕たちは初日の相互理解の深化のプログラムで、多人数でのメリットとデメリットについて学びました。メリットはいろんな人からいろんな意見が出るという点であり、デメリットはそのいろんな意見をまとめることやみんなで1つのことをすることが難しいという点です。そこで僕は、他の人の意見を整理してまとめたり、みんなで何かをするときに役割分担などの工夫をしたりして、多人数のメリットを生かしていけるようにしたいです。

僕はこの4日間でたくさんの学びを得ることができました。いろんな学校からリーダーが集まってきて、一緒に過ごしていく中で、自分だけでは気づけなかった新しい気づきがありました。この4日間で学んだことを、今後の学校生活で生かしていけるようにしたいです。リーダーを続けていたら、いつか大きな壁にぶつかると思います。しかし、僕は必ずその壁を乗り越えて、仲間から信頼されるリーダーになれるように、これからも一步一步全力で歩んでいきたいです。

自分の目指すリーダー像に向けて

西尾中学校

理想のリーダー像を見つけると意気込んで臨んだリーダー養成塾。僕はこの4日間を通して特に学んだことが2つあります。

1つ目は、ずっと中から見ているのではなく、行き詰まったら一度外から見てみるということです。初日に行った相互理解の深化のプログラムで、29人全員で手を繋いで立ち上がるという課題がありました。少人数で行ったときはすぐに立てたものの、多人数になると全く立てなくなり、全員のやる気もだんだん薄れていってしまいました。そんなときに声を上げてくれたのが、怪我で参加できていなかった仲間でした。その仲間のアドバイスおかげで見事に成功させることができ、とてつもない達成感を味わうことができました。外から見るのがいかに大切なのかを学ぶことができた瞬間でした。また、人数が多い方が便利なこともあるけれど、逆に人数が多い方が難しいこともあるということを、プログラムを通して学びました。人数が多い方が何事も便利だと思っていた今までの考えが、すっかり変わりました。

2つ目は、自分が信頼されるためには、周りの仲間を信頼することが大切だということです。これは2日目のスノーアーチ作りで学ぶことができました。僕の目指すリーダー像は、一人一人に寄り添い信頼されるリーダーです。信頼されるリーダーになるには、仲間を信頼することが大切で、信頼するには仲間の思いをしっかりと聞いて理解し、自分の思いを伝えることが必要だと思います。スノーアーチ作りでは、どうすればよいかを仲間と話し合い、一人一人に寄り添いながら作ることができました。また、このプログラムからは、全員が最大限の力を発揮できるように指示を出すことで、周りを見て指示を出す力を育むこともできました。

人生で一度しかないこのリーダー養成塾は、僕の今後の人生の大きな糧になると思います。他校のリーダーたちの考えや、リーダーとしての在り方など、さまざまなことを学ぶことができました。今まで自信がもてなかった自分の行動にも、自信がもてるようになりました。

今後の学校生活では、自分の目指すリーダー像になれるように、このリーダー養成塾で学んだ、「行き詰まったら外から見る力」や「仲間を信頼する力」を生かして、よりよい学校を作っていけるように、がんばっていきます。

新たな気づきを得たリーダー養成塾

西尾中学校

私は、信頼されるリーダーになるために、このリーダー養成塾に参加しました。はじめは、自分の中で明確なリーダー像はありませんでした。白川郷で過ごした4日間で、特に印象に残っている出来事は2つあります。

1つ目はナイトハイクです。普段、訪れることのない灯りのない夜の森は、普通に立っていたら飲み込まれてしまいそうな、そんな印象をもたせる堂々としたたたずまいでした。この夜の森を訪れたとき、私は初めてこの森のように堂々としたたたずまいのリーダーになりたいと思いました。その後も森のいろいろなところを歩き回りました。ひらけた場所に出たとき、自分一人の空間の中で静かに数分間過ごす時間がありました。いつも周りに仲間がたくさんいる私にとって、一人で静かに過ごす時間はとても貴重なものと感じました。このプログラムを通して思ったことは、リーダーとして活躍することも大事だけれど、自分の時間を大切にすることも必要だということです。

2つ目はPV作りです。西尾の魅力についてグループに分かれて、1分間のPVを作成しました。私たちのグループは、ものづくりについて調べました。調べは順調に進み、絵コンテ作りも終わり、いよいよPVを作る作業に入りました。絵コンテを書いたり、作業をしていたりするときは、何かを考えながらではなく、ただロボットのように決められた仕事をこなしていくような感じでした。しかし、どんどん絵コンテが完成に近づくにつれ、違和感を覚えるようになりました。ただ淡々と作業をするだけで、自分の意見が全く言えていないことに気づきました。そこで、絵コンテ作りの後半と動画制作では、仲間と意見を交換し合うことを大切にしました。しかし、あたりまえのようにすんなりとことは進みません。仲間と意見を交換し合う中で、お互いの意見が激しくぶつかり合うこともありました。そんなときにただ黙って傍観するのではなく、お互いの意見を聞いた上で解決策を皆で話し合うことが大切だと学びました。

このリーダー養成塾での成長や学びを大きな糧にして、私はこれからもたくさんの場面で活躍できるようにしたいです。これから生きていく上でたくさんの壁に直面するかもしれません。それでも、このリーダー養成塾で学んだことを忘れずに、大人になっても行動力を生かしていきたいです。

仲間と共に

西尾中学校

私はこの4日間を通して、リーダーの在り方の考えが変わり、自分が志すリーダーになるためにこれから意識したいことが明確になりました。

はじめは、リーダーとは行動が早く、計画や準備も全て一人でできる完璧な人で、人に頼らず自分でできるようにしていかなければいけないと考えていました。しかし、その考えはリーダーが一人で背負いすぎていて、全員でクラスやチームをよりよくすることができていないと気づきました。PV作りでチームの皆と流れを決めるときに、誰が決定権を持っているのか、誰が進行していくのか、ということを決めずに、平等な立場で話し合いました。すると、とても意見を出しやすい雰囲気での話し合いが進み、あいづちも多く、よりよい案が次々に出てきました。自分にはないアイデアも仲間がたくさん出してくれました。PV作りを通して、それぞれの発想力も、全員で高め合っていることが実感できました。小道具や演出の用意も、全員で分担するととても早く終わることができました。仲間と力を掛け合わせることのよさや大切さを強く感じました。学校生活でも、たくさんの仲間と話し合うことで、一人では見えなかった視点からの意見やたくさんの考えが出たり、より多くの人の士気が高まって課題解決につながったりすると気づきました。

相互理解の深化のプログラムで身をもって学んだように、力を合わせることは、人数が増えるほど難しくなっていくと思います。たくさんの考え方や意見が生まれるからこそ、一つに絞れなかったり、意見がぶつかり合ったりします。また、それぞれの個性や長所があるため、全員が心の向きを揃えられなかったり、ついてこられない人が出てきたりするかもしれません。そんなときに、全員が納得できるよりよい案を考えたり、一人一人に寄り添った方法で提案できたりする人が、私の考える新たなリーダー像です。そんなリーダーになるためには、視野を広げ、よく観察することが特に大切だと思います。そうすれば困っている人にいち早く気づけたり、たくさんの視点からものを見て新たな方法を考えたりできます。その人のよいところを見つけて自分に取り入れ、個性を理解して尊重し、誰一人置いていかない、仲間に寄り添える人になりたいです。

たくさん助けてくれて気づきをくれた、すべての方々と大切な仲間感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、ここで培ったことを生かし、仲間と共に高め合っていきます。

「仲間」を大事にするリーダー

鶴城中学校

リーダー養成塾に行く前の僕の考えるリーダー像は、仲間の意見をしっかり聞き、みんなをまとめられるリーダーでした。しかし、この4日間を通して、目指すリーダー像に少し変化がありました。今のリーダー像は、仲間と同じ目線で一緒に目標を達成できる信頼されるリーダーです。僕のリーダー像に深く影響したのは3つの気づきでした。

1つ目は、最初に行った特別プログラムで稲垣教育長が教えてくださった「リーダーという立場で信頼を得るには、『姿、姿勢・心、力、自分を変える力、我慢する力の5つの力』が大切だ」ということです。信頼を得るためには、仲間から自分がどのように見えているかを考え、積極的に行動すること、前に出て引っ張るだけでなく、時には寄り添い、同じ目線で取り組むことが必要だと感じました。

2つ目は、相互理解の深化のプログラムで学んだ多人数のメリットとデメリットについてです。漢字を見つける活動など大人数での活動のとき、一人のときよりも考えをたくさん出すことができました。しかし、フラフープを使った活動やスタンドアップでは、多人数の方が意見がばらばらになってしまったり、目指す方向性が違ってしまったりと、成功するまでに時間がかかってしまいました。それらの活動を通して、多人数のメリットとデメリットを考慮しながら全員で目標を共有し、同じ方向を向くことの大切さを知ることができました。

3つ目は、ガイドウォークの「赤松」の話です。雪の重みで根元部分から曲がっていると建築では使うのは難しいが、「赤松」の個性をうまく生かして家の梁にするという話を聞いて、リーダーも同じだと感じました。リーダーはその人の得意、不得意や個性を理解することが大切であり、そのためには、一人一人に目を向け、コミュニケーションを大切にしていかなければならないと思いました。

この4日間を通して、リーダーは仲間がいないと成り立たないからこそ、自分一人で行動するのではなく、仲間と一緒に行動する必要があるのだと感じました。今回の経験で気づいたことを学校生活で生かし、仲間と一緒に目標に近づいていくという自分のリーダー像に近づいていけるよう、これから精いっぱいがんばっていきたいです。

自分らしいリーダーへの道

鶴城中学校

僕が考える理想のリーダー像は、自分だけが前に出て活躍するのではなく、仲間一人一人の意見や個性を大切にしながら、全体をまとめて引っ張っていける人です。リーダーは、ただ指示を出す存在ではなく、仲間の気持ちを理解し、支え合いながら同じ目標に向かって進んでいく存在だと思っています。そうなるためには、仲間の話をよく聞く力と、自分の考えを伝える力の両方が必要だと考えています。僕は今回、リーダー養成塾に参加したことで、そのことを強く実感しました。

最初に行った相互理解の深化のプログラムでは、フラフープをみんなで床に置くために、体格差や下ろす人の順番を工夫して考えましたが、思うように下ろすことができませんでした。また、「スタンドアップ」の活動では、はじめはなかなか息が合わず、本当にできるのかと心配に思ったときもありました。しかし、仲間の意見を掛け合わせたり、基本ルールを確認したりすることで、最後には全員で立ち上がることができました。この経験から、相手の話をしっかり聞き、相手の立場に立って考える力がリーダーには欠かせないと感じました。

今回のリーダー養成塾で特に印象に残っていることは、自分の意見をしっかりもち、「自分はこう思う」とはっきり伝えていた仲間の姿です。その姿を見て、僕は自分の意見に自信がもてなくても、まずは意見を周りに伝えることが、よりよい方向に進むために大切なことなのだと気づきました。僕も、与えられた課題に対して自分の意見をしっかりと周りに伝え、そのうえで仲間を引っ張っていけるリーダーになりたいと改めて思いました。

僕は、このリーダー養成塾に行くまでは、自信がなく、不安な気持ちが大きかったです。しかし、自分を受け入れてくれて、一緒に悩み、励まし合った仲間がいたからこそ、より自信をもって挑戦することができました。このリーダー養成塾で得た経験や学び、そして素晴らしい仲間に出会えたことに心から感謝しています。

ここで学んだ「聞く力」と「伝える力」を大切にしながら、今後の学校生活や普段の生活に生かし、仲間を尊重しながら、周りから頼りにされるリーダーを目指していきたいです。

仲間と成長できた4日間

鶴城中学校

リーダー養成塾は楽しさもあり、不安なこともたくさんある4日間となりました。そんないろいろな感情になりながらも、この4日間で私が一番学べたことは、仲間の個性についてです。

私は、リーダー養成塾が始まる前に、クラスの応援合戦の団長を務める機会がありました。その際、私は「これをしないといけない」、「あれをしないといけない」と考えて動いていました。リーダーとは、みんなをまとめ、頼られる人だと考えていたからです。しかし、一人で考えたアイデアはあまり納得できるものではなかったり、指示が通りにくいものだったりしました。

今回のリーダー養成塾のナイトハイクのプログラムでは、自然の音などを感じているときに、どれくらいの時間が経ったのかを聞かれたことがありました。すると、出てきた答えはみんなそれぞれ違っていました。そのことから、同じ経験をしていても一人一人感じていることは違うのだと気づけました。また、ガイドウォークのプログラムでは、雪の重さで根本が曲がってしまった木を家の梁として役立てていることを知り、それぞれに得意や不得意があり、それを生かす場面も人それぞれなのだと感じました。

これらのことから、大変なときや困難に直面したときなどに、どうすればよいかわからないと思うことがあっても、視点を変えることで新しく気づくことがあったり、できることが増えたりするということや、同じ人間でも、思っていることや感じていることは人それぞれで違う個性があるということを、深く知ることができました。

特に、リーダーとして大切なことだと思ったのは、「一人一人の個性がある」ということだけでなく、その先の「一人一人違うから得意や不得意があって、それをどれだけ理解できるか」ということです。リーダー養成塾に参加する前は、リーダーは仲間をまとめる力が最も大切だと考えていましたが、この4日間の経験を通して、それぞれの個性に目を向け、仲間のよさを引き出せるリーダーになりたいと考えるようになりました。

今回学んだことを大切に、これからも仲間と高め合いながら自分の個性も相手の個性も見つけ、仲間を大切にできるリーダーを目指していきたいです。

29人の個性を掛け合わせ、前へ進めた4日間

鶴城中学校

私が目指すリーダー像は、仲間と目的を共有し、同じ方向に向かって進められるように率先して行動を起こせる人です。このように考えるようになった理由は、4日間のリーダー研修を通して2つの気づきがあったからです。

1つ目は、一人よがりにならずに仲間の意見を聞き、助け合うということです。初日に行った相互理解の深化では、みんなで輪になり、フラフープを人差し指だけで持ち、落とさずに床まで下ろすという活動がありました。最初に3人で行ったときには簡単に床まで下ろせましたが、5人で行ったときにはフラフープが思わぬ方向に行ってしまったたり、落ちてしまったりと上手くいきませんでした。その後の漢字を使ったプログラムでは、自分だけでは思いつかなかったことが、グループや全体で考えてみるとたくさんの意見が出てきました。この体験から、人数が多いほど、意見をまとめたり、スムーズに進めていったりすることは難しいけれど、その分アイデアがたくさん生み出されたり、自分では思いつかなかった意見がたくさん出たりすることを学びました。

2つ目は、諦めずに最後まで仲間とやり遂げる大切さです。3日目のPV作りでは、同じ班の仲間と意見を出し合いながら絵コンテを作成しました。しかし、伝えたいことが上手く整理できなかったり、ストーリーが不自然になってしまったりと、思っていた以上に難しいものでした。1回目の審査でたくさんの指摘を受けてしまい、私たちの班は行き詰まってしまいました。そうした苦しい時間の中で、仲間と「どのようなPVが作りたいか」「西尾の同年代の子たちにどのようなことを伝えたいか」などを話し、整理することで、最後まで全員が同じ方向を向いて前に進むことができました。そして、この出来事によってチームが成長したから、目標であった3位以内に入ることができたと思います。チームやクラスなどが下を向いているときこそ、自らリーダーとして全体を励まし、声を上げ、諦めずに最後まで支え合うことがとても大切だと実感しました。私は改めて、リーダーとは、仲間の意見をまとめるだけではなく、目的を達成できるようにチームを方向づけ、同じ想いを共有させていけることができる人だと思いました。

4日間を共に駆け抜けた29人の仲間と、この素敵な機会をくださった皆様への感謝を忘れず、これからも自分の理想のリーダーへと近づけるよう精いっぱい努力していきます。

新たな視点をくれたリーダー養成塾

平坂中学校

リーダー養成塾の4日間を通し、学んだことが2つあります。

1つ目は自分の個性を最大限に発揮することの大切さと、そのリスクです。これはプログラム3の森の生き物たちの知恵を学ぶガイドウォークで気づきました。モモンガは、主食を地上の草から赤松などの木の葉に変えたため、他の生き物と食べ物が重ならず、冬も安定して食べ物を得られ、冬眠しなくてよくなったと聞きました。一方で、寒い時期にも木の葉を食べに行かなければならないというデメリットもあるそうです。この話から、個性を出すことで生きやすく、かつ、より楽しく生きられるように変われるのだと気づきました。同時に、自分に置き換えると、その変化を周りがどう感じるかが気になりました。自分を出しすぎると否定的に受けとられ、協調性がないと思われるのではないかと心配になりました。このリスクに気づけたので、個性を発揮し活動するときには、周りに気持ちよく受けとめられるよう留意したいと感じました。

2つ目は役割を分担することの重要性です。これはプログラム4のグループの力を引き出すアクティビティや、プログラム7のふるさと西尾を見つめ直すPV絵コンテ作りで学びました。前者では、あらかじめ互いの得意なことを伝え合い、役割を分担しました。その結果、自分の役割が明確になり、やるべき活動に集中できたため、きれいなスノーアーチを楽しく作ることができました。後者では、最初に絵コンテのストーリーをどのようにするかで悩みました。そこで、作業を段階ごとに分け、まず使用する技法を決め、次にストーリーの大枠を考え、その後に細かい内容を決めました。この3つをそれぞれが適材適所で担当することで、円滑かつ効率的に絵コンテを完成することができました。

これらの学びで、今まで目指していた「人の個性を最大限に活かせる」から、「適材適所で人の個性を発揮できるようにする」と、目指すリーダー像が変化しました。個性を活かすという考えは変わりませんが、常にではなく、活かせる場面で活かすことが大切だと考えるようになりました。役割を決める際には、相手の個性を理解したうえで、誰がどの場面で力を発揮できるのかを意識することが重要だと感じました。

今後は、命令口調ではなく同じ目線に立って語りかけ、みんなが活躍できるように、仲間と関わっていきたいです。学んだことを活かし、みんなから信頼されるように「力」と「心」で示し、自分の目指すリーダー像に向かって前進できるように努力していきます。

自分のリーダー像を見つける第一歩

平坂中学校

僕は、リーダー養成塾に参加できることが決まり、期待と不安の両方で胸がいっぱいでした。誰もが経験できるわけではないことが経験でき、未来のリーダーとして一步を踏み出せる最高のチャンスだと思うと同時に、新しい仲間と3泊4日の活動をすることに不安がありました。

初日の相互理解の深化のプログラムでは、仲間と輪になり、手と手を取り合い、立ち上がる挑戦をしました。少人数のときはすぐに立ち上がることができましたが、それが全員となると難しく、みんなで案を出し合いながら解決することで成功できました。自分からも発言することでコミュニケーションが深まり、相手の意見を聞き、相手を尊重することを学べ、最高の初日となりました。

PV作りでは、事前に決めたチームに分かれ、西尾市の魅力を伝えるプログラムに臨みました。僕たちはテーマを「西尾市の偉人」とし、資料作りに挑戦しました。アイデアを並べ、物語が完成してから講師の先生にアドバイスをもらい、改善点をメンバーで話し合いました。意見をまとめながら修正していき、構成が完成したときは自分たちの決断力が強くなったことを実感しました。実際の制作作業では、僕たちのチームはグリーンバックをふんだんに利用し、映像の合成に挑戦しました。メンバーに得意な子がいたので編集担当をお願いしました。僕は普段から人前に立つことが得意なので演者を担当し、自信をもって演技できました。「見る側の目線を考慮して制作するためには、どうしたらよいか」という目的をもった話し合いをすることができ、話し合いのまとめ方を身に付けることができました。

スノーアーチ作りでは、普段目にしない量の雪を仲間と楽しみました。押し固め、ブロック状の雪を作ったり、アーチにするために切ったりして、それらを流れ作業で積み上げました。積み上げていくと揺れて倒れそうになるので、僕は倒れないように体を使って常に支えていました。仲間や先生から重要な役割だと褒められ、とてもうれしかったです。

4日間で仲間との距離が縮まり、自由に発言できる場を作り上げることができ、最高の思い出となりました。このリーダー養成塾で、相手を思いやること、自分の意見や意思をはっきり言うこと、意見を押し付けず、話し合いで結論を出すことなどを学びました。それを中学校生活で活かせるように、常に意識して行動していきたいと思いました。

リーダーに必要なものとは

平坂中学校

私はリーダーに必要なものとは何かを見つけるために、このリーダー養成塾に参加しました。このとき、自分の目指す具体的なリーダー像は決まっていなかったため、理想のリーダー像を見つけることも意識して3泊4日の研修に挑みました。私が特に学んだことの多かったプログラムは2つあります。

1つ目は稲垣教育長による特別プログラムです。一人一人がリーダーに必要なものとは何かを考え、私は「情熱」と発表しました。29名の意見を分類し、「姿、力、心・姿勢」と「自分を変える力、我慢する力」が必要になってくると学びました。確かに、どれが欠けてもリーダーは成り立たず、仲間を導くことすらできないと思いました。だから、リーダーはこれらの要素を習得するために誰よりも情熱をもち、何事も挑戦することがとても大事であると考えました。

2つ目は夜の森を感じるナイトハイクのプログラムです。出発する前、リーダーについての何を学ぶのかと少し疑っていました。ところが、夜の森に入るとなぜか探究心が湧いて、何も見えない暗い森でも恐怖は感じませんでした。奥深くまで入ると、誰も声を発さない静かな一人の時間がありました。私はそこで、雨や風などの自然界の音を聞いて、とても感動しました。これからの世界で自然を守っていかないといけないなと思ったのと同時に、リーダーにはこのような一人の時間が必要だと考えました。リーダーはみんなを引っ張っていく存在です。相談に乗ったり、助けたりする場面も当然あります。精神的なストレスを回避するためにも、リーダーも自分自身と向き合う時間が大切だと思いました。

今回のリーダー養成塾を通し、リーダーに必要なものとは何かを学びました。この課題については、人生を通して学んでいかないと真の答えには辿り着けないと思います。また、その答えはリーダー一人一人によって全く違います。今の私が考える答えは、先ほども述べた通り、「情熱」だと思います。リーダーが本気ならそれに乗っかってみんながついてきてくれる。でも、現実はその簡単にはいきません。だから、この研修で学んだ「姿、力、心・姿勢」「自分を変える力、我慢する力」を柱として生活し、リーダーとして仲間からの信頼を得て初めて、自分の「情熱」が通用するのだと思いました。今後の学校生活でも、リーダー養成塾で学んだ全てのことを意識し、自分の「情熱」を大切にしながらがんばっていきたいと思います。

新たな一步をくれたリーダー養成塾

平坂中学校

私は、「積極的に行動できて信頼されるリーダー」という理想のリーダー像に近づくために、リーダー養成塾に参加しました。4日間で学んだことは2つあります。

1つ目は、一人一人の個性を最大限に活かせる役割を担当し、グループ活動をする事です。これは、グループの力を引き出すアクティビティというプログラムで深く学ぶことができました。私たちのグループは明るく個性豊かで、役割は最初、適当に決めていました。しかし、関わり合っていく中でそれぞれの得意や不得意が分かり始め、誰がどの役割をやるとよいのかを話し合い、互いの個性を活かした役割に分かれて活動することにしました。すると、最初るときよりも効率よく、心地よく活動できました。この経験から、まず仲間の個性を知り、理解し合うことの大切さと、個性を活かせる役割を担うことで、それぞれのよさがかけ合わさって、よりよいものになると学ぶことができました。

2つ目は、ただ積極的に意見を言うだけでなく、話をまとめながら活動を進めることです。これは、P V 絵コンテ作りのプログラムで、新しい視点から学ぶことができました。私たちのグループはとても積極的でたくさんの意見が出てきました。しかし、その意見をまとめる人がおらず、なかなか話が進みませんでした。だから、それぞれの意見をまとめることに挑戦し、どの意見が課題に沿っているかを話し合うことにしました。すると、案が1つにまとまり完成しました。この活動を通して、達成感や喜びを感じ、グループがチームへと成長できたと感じました。このことから、ただ意見を言うだけでなく、周りの状況を見てまとめながら話を進めること、受け入れ合い、伝え合うことで信頼関係が築けることが分かりました。また、意見がたくさん出ると案をまとめるときの選択肢が増えるということにも気づけたので、自分だけが意見を言うのではなく、仲間も意見が言えるように支えられるようになりたいと思いました。

私はこのリーダー養成塾で、たくさんの経験と学びを得ました。この4日間で理想のリーダー像に近づくことができました。しかし、まだ完璧に理想のリーダーになることができたわけではありません。今回学んだ個性の尊重と、仲間の意見をまとめながら進めることを学校生活に活かしていきたいです。このリーダー養成塾で終わりとするのではなく、スタートラインに立たせていただけたと思い、これからも進み続けていきたいです。

リーダー養成塾での気づきと次への課題

寺津中学校

リーダー養成塾に参加して一番変化した考え方は、チームの力とは何かということです。考え方はさまざまあると思いますが、僕は今までチームの力とは、チームが課題に向かってどれだけ全員が一丸となり、協力し合っているかだと思っていました。しかし、今はその考えが変わりました。チームの力とは、チーム一人一人の能力や個性をどれだけ生かすことができるかです。僕がそのように思った理由は、ガイドウォークのプログラムでモモンガやリスはそれぞれの個性を生かして生活をしていることを知ったからです。そこで、チーム一人一人の個性や能力を最大限発揮したら、チームの力はどのようになるのかと興味が湧きました。次のスノーアーチ作りでは、チームのメンバーそれぞれができることを考えて役割分担をして活動しました。すると、今までよりも効率よく課題に取り組むことが出来ました。さらに、課題を達成したときや課題に向かって努力しているときに、今まで以上によい雰囲気になり、より達成感を得ることができました。この学びを生かせるように、これからの学校生活では仲間とたくさんコミュニケーションを取り、仲間のことをよく知った上で、それぞれの個性を生かせるようにしたいです。

また、自分自身の課題としては、チームでの活動で事前に何をやるのかがわかっている場合には、それに必要な知識や自分の考えをしっかりとまとめておくということです。なぜこのように思ったのかというと、PV作りをした際に、チーム全体の準備や調べが足りておらず、意見がまとまらずに沈黙の状態が続いてしまったからです。インストラクターの方の助言のおかげで何とかなりましたが、これからの学校生活でも同じようなことが起きてしまい、自分もチームの仲間にも嫌な思いをもってほしくはありません。今後このようなことがないように、事前の調べや考えをまとめることを意識していきたいです。

僕はリーダー養成塾を通してさまざまな学校のリーダーの考えや能力に触れることができました。ここに書いたこと以外にもたくさんの学びを得ることができました。この学びを生かせるようにするために、このリーダー養成塾で学んだことを忘れることなく自分の理想のリーダーに向かってがんばっていきたいです。

終わりでではなく始まりとして

寺津中学校

リーダー養成塾で出会った28人、冬休みの4日間という短い時間でしたが、別れが寂しくなるほど楽しく、有意義な時間だったと感じています。その中で特に記憶に残っている2つの学んだことがあります。

1つ目は、一人では難しいことでも協力すれば乗り越えることができるということです。1日目に行った相互理解の深化のプログラムでは、手を繋ぎ立ち上がる活動を行いました。その活動では人が少ない方が上手くでき、多人数では何回も失敗を重ねたけれど、1回ずつお互いに意見を言いながら、最後にはみんなで立ち上がることができました。2日目に行ったスノーアーチ作りでは、雪のブロックを作り、削った後は乗せていくだけで作れると思っていました。しかし、実際にやってみると、ブロックの作成にかなりの時間がかかりました。また、削ったときにはうまくいくと思ったものでも、実際に乗せてみると、バランスが崩れて上手くいかないことの方が多くありました。けれど、その度に班の仲間と協力し、試行錯誤をしながら完成させることができました。1日目と2日目の体験を通して、どちらも協力が大切であり、たとえ課題や目標が難しくても、成功した先には大きな感動と喜びに出会えることを学ぶことができました。

2つ目は、どんな出来事に対しても自分の知っていることや憶測だけではなく、いろいろな事情や内面を深く知ることが大切だということです。団長の半田校長先生が最後に話してくださった西尾市の新しい制服の話がそうでした。私たちは古い制服なのに新生徒はなぜ新しくなるのかと、心の中でずっと思っていました。しかし、新制服の制作の裏には多くの人の協力や工夫があることをうかがい、自分の立場や憶測だけで話すのではなく、内面から知ることの大切さを学びました。

私は足のけがのために、参加できないプログラムもありましたが、違う形で周囲の人を支える新たな体験もできました。心配してくれる人がたくさんいて、それも含めて「リーダーって最高」と改めて感じる場面がありました。帰ってきたときには「終わってしまった」と寂しく思いましたが、仲間が言っていたように、このリーダー養成塾を終わりだと思わず始まりとして、これからもリーダーとして歩んでいきたいです。これからの私の活躍を見守っていてください。

変わった自分

福地中学校

僕は、この4日間を通して学んだことがたくさんあります。その中でも特に、自分自身が成長できたと感じる「相互理解の深化」と「P V作り」の2つのプログラムについて書きたいと思います。

1つ目の「相互理解の深化」では、リーダーに必要な力について考えました。そこでわかったことは、判断力などの「力」だけではなく、信頼される「心」や、お手本になる「姿」、そして自分を変えようとする強い気持ちが大切だということです。特に心に残っているのは、29人全員で挑戦したゲームです。人数が少ないときよりも、人数が増えるほどみんなの気持ちを1つにするのは難しくなり、最初はばらばらになりそうでした。しかし、一人一人が周りのことを考えて協力することで、難しい課題をクリアすることができました。大人数で力を合わせて成功したときのうれしさは、一人のときよりもずっと大きかったです。この経験から、リーダーがみんなのことをよく考えて協力を呼びかけることが、仲を深めるために一番大切だとわかりました。

2つ目は、初めて経験した「P V作り」での学びです。最初は、「意外と簡単そうだし、スムーズに進むだろう」と軽く考えていました。しかし、実際にやってみると現実は甘くありませんでした。1回目の審査が終わったあと、アドバイスをもらって内容を直そうとしたのですが、なかなかよいアイデアが思いつきませんでした。チームのみんなが黙ってしまい、だんだん雰囲気が悪くなっていきました。「この雰囲気を何とかしたい」と思いましたが、もともと自分から意見を言うのが得意ではなく、言いたいことがあっても勇気が出ないことがよくありました。しかし、そのとき「学校の代表としてここに来ているんだ。それなのに何も挑戦しないで終わるのは絶対にだめだ」と強く思いました。勇気を振り絞って自分から声をかけてみると、それをきっかけにチームメイトも次々と意見を出してくれるようになり、チームが一気に明るくなりました。撮影のときもみんな協力でき、発表会では悔いのない最高の結果を出すことができました。このことから、リーダーが自ら勇気を出して一歩踏み出し、行動することの大切さを学びました。

リーダー養成塾に行く前は「意見を聞き、やる気を引き出すリーダー」が理想でした。しかし今は「自ら動き信頼を築き、全員を笑顔にするリーダー」を目指しています。この学びを活かし、学校生活でも新しいことに進んで挑戦していきます。

リーダーとして、これから

福地中学校

私は、このリーダー養成塾で学んだことが2つあります。

1つ目は、リーダーは日頃からみんなの手本にならないといけないということです。リーダー以前に、周りの迷惑になるようなことをしてはいけません。もし周りが見えていなくて迷惑になっている人がいたら、私たちリーダーが注意すべきです。しかし、1日目の私はご飯や入浴のとき、他のお客さんのことを考えられていませんでした。そのことを部屋で指摘され、食事の声の大きさなど、リーダーとしてふさわしくない過ごし方をしていた自分に気づき、心から自分の行動を見直さなければいけないと強く思いました。特別プログラムで、リーダーには信頼が必要で、そのためには姿で示すことが大切だと教わっていたのに、「分かっているつもり」になっていた自分に気づきました。リーダーだからこそ、前に立つときだけでなく、日常の振る舞いを大事にするべきだと考え、2日目からは周りを意識して積極的に声を掛け合うようにしました。そうすることで、先を見通す力が少しずつ身につき、成長することができたと思います。

2つ目は、仲間と力を合わせることで、一人のときよりもできることが増え、よりよいものが作れるということです。3日目、私たちのチームは絵コンテ作りにかなり時間がかかっていました。アドバイスされた「主人公への感情移入」が難しかったからです。なかなかよい案が出ずに悩んでいると、チームの子が今までの案を少し変えた別のアイデアを出してくれました。その案がよりよくなるようみんなで何度も話し合い、納得できる絵コンテを完成させることができました。PVを撮るときも全力で協力し、その結果、発表会で2位を取ることができました。これは一人ではなくチームのみんながいたからこそ取れたものです。自分一人では絶対に思いつかなかった考えにふれたことで視野が広がり、仲間を尊重することの大切さを再認識しました。プログラムを通して、協力することで自分にはなかった視点をもてたり、できなかったことができるようになったりと、自分の成長をたくさん感じることができました。

これから、私はこのリーダー養成塾での学びを生かし、仲間との関わり方を大切にしていきたいです。そして、今回自分ができていなかったことを忘れることなく、信頼されるリーダーになりたいです。

自分の考えを変えてくれたリーダー養成塾

東部中学校

リーダー養成塾での経験を通じて、リーダーに必要なことを学びました。その中で、僕がこれからの生活で特に大切にしていきたいと思ったことは、次の2つです。

1つ目は「リーダーとしての在り方について」です。最初の特別プログラムで、「いいリーダーは自分から変化できる」と学びました。これまで僕が思っていたリーダー像は、リーダーとして全ての責任を負い、自分がかんばらなくてはいけないというものでした。しかし、この話を聞いて、自分だけでどうにかするのではなく、周囲に合わせて最適な在り方を選び、行動していくことが大切だと考えました。これからは、「状況」や「相手」に応じて言動や行動を変化させながら、仲間を支えていけるリーダーになりたいです。

2つ目は「支えられているからこそ、リーダーは存在できる」ということです。1日目の夜、この4日間で学びたいこと、学んだことをどうしていきたいのかという一人一人の話を聞いていたとき、仲間が話していた「支えられてこのリーダー養成塾ができている」という言葉が印象に残りました。僕は、それまでリーダーとは仲間に指示を出し、全体を支える存在だと考えていました。しかし、周りの人から支えられているからこそ、リーダーとして行動することができる気づきました。今回のリーダー養成塾を行うにあたり、白川郷に行くためのバスの運転手やガイドの方々、白川郷の関係者の方々、実行委員の方々、そして常に支えてくださった鶴城中学校の先生方の存在がありました。僕たちがリーダーとしての学びを深めていく裏には、たくさんの支えがあることを実感しました。支えてもらっていることを忘れず、感謝の気持ちを大切にしていきたいです。

このほかにもリーダー養成塾で学んだことはたくさんありますが、僕の考えを大きく変えた「リーダーとしての在り方」「支えられてリーダーが存在している」ということをもとに、僕の理想のリーダー像が決まりました。それは「臨機応変に対応できるリーダー」と「感謝の気持ちをもって行動できるリーダー」です。これらの目標と、これまで僕が大切にしてきた「信用できるリーダー」も含めて僕の目標としていきます。こういったことを考える機会をいただき、本当にありがとうございました。

新たなスタートをくれた4日間

東部中学校

私は今まで、自分の意見を否定されたり、自分の発言により誰かを傷つけたりすることが不安で、自分を出せなかったり、仲間に相談することを躊躇したりすることがありました。そのような中で、リーダー養成塾の活動を通して、私のリーダーとしてのマインドが2つ変化しました。

1つ目は、リーダーとは仲間を引っ張る人だと思っていたけれど、それだけではなく仲間の個性を引き出し、生かす存在でもあるということです。これは、2日目のガイドウォークで気づきました。見た目が似ている2種類の動物について、多様な見方をする中でそれぞれの特徴が見え、さらに見えないところにも新たな発見がありました。他にも雪で根元がしなっている木がありました。曲がった部分は加工しにくいため、活用されないことが多いそうですが、白川郷の方々はそれらを建物の補強材として有効活用していました。短所も違う形で活かすことができると知りました。これらの経験を通して、仲間の個性、本質を見抜いて生かし、短所も強みに変えていけるよう、支えられるリーダーになりたいと思いました。

2つ目は、全員で達成したときの喜びの価値です。これは、スノーアーチ作りで実感できました。私たちのグループは製作を進める中で集中力が切れ、雪合戦が始まったり、完成直前で作品が崩れたりしました。しかし、それが転機となり、どうすればこの状況を抜け出せるのかを話し合い、それぞれが役割を見つけて意欲的に行動しました。その結果、完成することができ、思わずガッツポーズをしました。また、スタンドアップという課題でも実感できました。少人数なら簡単にできたことが、人数が増えると難しくなりました。何度も話し合い、挑戦と失敗を重ねた末、全く新しい考え方で挑戦すると、成功しました。その成功を仲間と喜び合えたことが強く心に残っています。これは、一人の挑戦では絶対に味わうことの出来ない達成感と一体感でした。まさに、仲間一人一人の異なる意見を「カケル」ことで達成できた出来事でした。

リーダー養成塾を通して、リーダーという立場を超え、一人の人間として成長できたと感じています。今後は、さらに多くの経験と失敗を重ね、自分を変化させていきたいです。そして、より多くの人々が「楽しい」と感じられる学校を、仲間とともにつくっていきたいです。最高のメンバーと未来へ「カケ」出すことができ、本当によかったです。

理想のリーダーになるために

一色中学校

僕はリーダー養成塾に行くまで、自分が目指すリーダー像がはっきりとしていませんでした。しかし、このリーダー養成塾を通して、何事も一人で考えず、いろいろな人たちと積極的に意見を出し合い、それをまとめることがリーダーとして大切だということが分かりました。

リーダー養成塾を通して印象に残っていることは、初めの特別プログラムであったリーダーとしての信頼を得るために「力・心と姿勢・姿」の三つが必要であるという話です。また、西尾とは違う白川郷の自然を体験し、環境によって、動物の生活の仕方が違うことも知りました。それは人間も一緒です。人によって考え方など自分とは違うことも多くあり、そういう人たちとも上手くやっていけるような人間性も必要になってくると思いました。また、日常でもそういった学びを発見していけるように、リーダーとして考えて行動していきたいです。

今回のリーダー養成塾では、リーダーとしてだけではなく、人として学べたこともたくさんありました。例えば、周りの人のことを考えて公共の場を使ったりすることや、食事の後にその場所を出るときに「ごちそうさまでした」と言ったりすることなど、人としてあたりまえのことも学ぶことができました。リーダーである前に、一人の人間として、あたりまえのことをあたりまえにしたいと思いました。今、中学校でもあたりまえのことをあたりまえに行うことを課題としています。今年、体育祭や合唱コンクールなどたくさんの行事がありましたが、行事でよい結果をとるためには、まずは日常からあたりまえのことをしっかりできているかが大切だということを身をもって実感しました。このリーダー養成塾で、あたりまえの大切さを改めて実感しました。

最後に、今回リーダー養成塾に携わってくださった方々に感謝するとともに、学んだことを生かすために生徒会や委員長、学級代表などに挑戦し続け、学校や学年、クラスのリーダーとして活躍したいです。僕にはまだまだ足りないところがありますが、リーダーとして、どうしたらみんなが同じ方向に向かって進んでいけるかを考え、他のリーダーとも相談してがんばっていきたいです。

理想のリーダーの変化

一色中学校

僕は、「自分から先頭に立って仲間をまとめるリーダー」という理想のリーダー像に近づくための気づきを得ようと思い、リーダー養成塾に参加しました。しかし、白川郷で過ごした4日間の中で、自分の中での理想のリーダー像に変化がありました。理想のリーダー像が変化した理由は2つあります。

1つ目は、スノーアーチ作りを通して感じたリーダー像についてです。スノーアーチ作りでは、チームの仲間と協力してアーチの製作に挑戦しました。その中で僕は雪のブロックをたくさん作ったり、ブロックを積むときに支えたりするなど、チームをまとめることよりも下から支える行動をしました。このことから、リーダーはみんなの先頭に立つだけでなく、目立たないところで支えることで、目標達成や課題解決することができると感じました。

2つ目はPV作りを通して感じたリーダー像についてです。PV作りでは、ストーリーを決めるときになかなか1つにまとまらず意見がぶつかり合うことがありました。また、ストーリーを大きく変えなければならなくなってしまうときに、チームの雰囲気が少し重くなってしまいました。他にも、撮影する場所がなかなか決まらず時間がおしてしまうこともありました。そのときに、チームの仲間は一人一人性格も違い、違った個性をもっているため、仲間の異なる考え方や意見を受け入れるためにはどうしたらよいのか悩みました。そこで、一人一人の話をよく聞くことや、撮影のときに事前に準備をしたり、PVに出演する仲間の負担を減らすようにサポートしたりすることでよい雰囲気になり、PV作りを無事に終えることができました。この経験から、仲間の個性を活かすことの大切さを学び、個性を活かしていけるリーダーがいることで目標達成がより効率的にできると感じました。

僕はこのリーダー養成塾を通して、リーダーについての理解が深まり、「自分から先頭に立ってまとめることだけでなく、仲間を下から支えることもでき、仲間一人一人の個性を“カケル”ことができるリーダー」が理想とするリーダーであると、より具体性をもつことができました。これからの長い人生の中で、リーダー養成塾を通して学んだことや経験したことを活かし、さまざまな場で活躍できる素敵なリーダーを目指して日々精進していきます。

必要なことのその先へ

一色中学校

私は、これまで「先頭に立ち、手を引いていけるようなリーダーになりたい」と思っていました。そして、そんな人がリーダーと呼ばれるのだと思っていました。しかし、リーダー養成塾の4日間の29人との学びを通し、私の考えは違うのかも知れないと感じました。そして、このリーダー養成塾が終わったとき、私は、「積極性やさまざまな個性をもつ仲間たちをどう生かすか、まとめるかが大切である」という答えを見つけることができました。

私がこのリーダー養成塾で学んだことは、2つあります。

まず1つ目は、みんなで冷静に話し合える環境をつくれば、大きな目標も成し遂げられるということです。これは、相互理解の深化のプログラムで、29人が力を合わせ、手を繋いで立ち上がるという活動を進める中で見つけました。全員で目標を達成するためにたくさん意見を出し合って実践しましたが、目標に向かって夢中になればなるほど、同じ人ばかりが発言して、同じことを繰り返していました。それに気がついたとき、意見を言えなくなっていた人に聞いてみると、新しい発見があり、その意見を取り上げたことで見事目標を達成することができました。

2つ目は個性豊かな仲間がいる中で、どう意見をまとめるかということです。これは、PV作りを行う中で見つけました。私たちのチームは、仲の良さを生かし、誰も気をつかわずにどんどん意見を出しました。しかし、みんな好き勝手に意見を言い、なかなか意見がまとまりませんでした。そこで、落ち着いて話し合いをしようということになり、個性を尊重しながら進めました。一人の仲間が「よいPVを作るためではなく、作る過程でどう協力して進めるのかということを学ぶためにこのプログラムがあるのではないか」という意見を聞き、納得することができました。

顔を合わせたことはあるものの、互いに気をつかいあって始まった4日間。初日に絆を深め、多くの学びを得られました。これからは、協力してくださった方々に感謝をして、新たに見つけた「積極性やさまざまな個性をもつ仲間たちをどう活かすかやまとめるかが大切である」ことを意識し、突っ走っていきます。本当にありがとうございました。

「弱さ」を認める勇気が生む、真のリーダーシップへの道

一色中学校

リーダーとは、常に完璧で、誰よりも強く、周囲を導く存在でなければならない。私はリーダー養成塾に行く前はそう固く信じていました。弱音を吐かず、正論でみんなを鼓舞することが自分の役割だと考えていました。しかし、リーダー養成塾での日々は、その傲慢な理想を覆しました。私の課題は人との壁でした。

PV作りをしていく中で計画が停滞し、班の雰囲気が悪くなったときに、私は焦りから「なぜできないのか」と正論で仲間を追い詰めてしまいました。沈黙が流れる中、一人の仲間が「言っていることは正しい。でも、一人で背負い込もうとすると、僕たちは頼られていないと感じて、心が離れてしまう」と言いました。その言葉に私は言葉を失い、リーダーシップという名の独りよがり、信頼を壊してしまうと衝撃を受けました。私はその夜、自分の不安や、失敗への恐怖を仲間に打ち明けました。格好悪い自分をさらけ出すのは勇気がいるけれど、仲間は笑わず受け止めてくれ、とても安心しました。このことをきっかけに私は強さとは完璧であることではなく、自分の弱さを認め、他者の力を信じて頼る力のことだと気づきました。

私が学んだ理想のリーダー像は、「北風」のように人を動かすのではなく、「太陽」のように、そこにあるだけで周囲が自ら動きたくくなるような温かな存在です。意見を押し付けるのではなく、問いを投げかけ対話を促すことや仲間一人一人が「自分の居場所がある」と感じられる土俵を作ることが私の目指す姿だと思いました。

これからの私は、迷ったときこそ立ち止まり、仲間の声に耳を澄ませたいです。自分の不完全さを認め、他者の個性を尊重し、共に成長し合えるチームを築いていきたいと思います。このリーダー養成塾で得た最大の財産は、スキルではなく「心を通わせる勇気」でした。もちろん、今も不安や葛藤がなくなったわけではありません。困難に直面すれば、つい以前のように自分を律して固執してしまいそうになります。しかし、そんなときはリーダー養成塾で出会った仲間の顔を思い出し、彼らが教えてくれた勇気を忘れずにいたいのです。私は、共に歩む人々の可能性を誰よりも信じ抜き、失敗さえも成長の糧として分かち合えるリーダーになりたいです。リーダー養成塾で学んだ「対話の尊さ」を胸に、一歩ずつ、しかし着実に、信頼の輪を広げていくことをここに誓います。

僕の“カケル”は終わらない!!

吉良中学校

普段とは違う“濃さ”を味わった4日間を経て、僕は改めてリーダーという役割を「おもしろい」と感じています。そう思うようになった理由は2つあります。

1つ目は、リーダーの在り方を学んだからです。初日の特別プログラム「リーダーの在り方について」の中で、次のことに気づきました。それは、リーダーは変化していく周りの環境に、自分のもつ力やスキル、いわば財産をどのように使い、どう自分も変化させていくかが重要だということです。リーダー養成塾に参加する前は、リーダーは信念をしっかりともっていて、どんな困難も乗り越えていくようなイメージがありました。でも、それよりも大切なことをこのプログラムを通して学ぶことができました。

2つ目は、どのようにしたら仲間の協力を得られるかを学んだからです。僕は、これまで取り組みなどで、どのようにしたら仲間の協力を得られるかを考え、工夫してきました。例えば、企画の結果を貼り出すなど、成果の「見える化」を行い、皆でがんばろうという雰囲気作りをしました。しかし、思うようにいかないこともありました。そこで、リーダー養成塾で他の学校のリーダーたちから、さまざまな方法を吸収したいと思っていました。

この4日間でそのきっかけとなったプログラムは、「西尾のPV作り」です。PV作りの中で絵コンテ作りや編集作業をする際、いろいろな意見が飛び交い、自分の意見と違う意見が出てくることがありました。しかし、そうした意見を受け止めることで、班の雰囲気もよくなり、僕の意見も受け止めてもらえるようになりました。僕はこれまで「リーダーが指示を出して皆でがんばる」というイメージがありましたが、今回経験したように話し合っただけでよりよくしていくことの大切さに気づきました。

自己紹介に書いた、「ぼく、わたしってこんな人」のリーダー像の欄に僕は、「みんなの先頭に立って引っ張るリーダー」と書いてあります。それがリーダー養成塾を通して「周りの環境に自分も変化させていけるリーダー」、「他者の意見をしっかりと受け止めるリーダー」に変化しました。リーダー養成塾を通して、リーダーは仲間がいてこそそのリーダーであると学びました。そして、これからも常に先頭に立って、リーダー養成塾のスローガンのように“カケル”リーダーであり続けたいです。

自分が目指すリーダー像への道を標してくれた4日間

吉良中学校

僕はリーダー養成塾のプログラムの中で特に自分が成長できたと思うことが2つあります。1つ目は「生き物たちの知恵を学ぶガイドウォーク」です。この活動では、森の動物や植物の種類に独自の生き残り方があることを知りました。そこで学んだことは、僕たち人間も一人一人に個性があり、その個性をよい方向に出していくことが大切だということです。僕のクラスは個性が強く、皆が同じ方向を向いたり、意見をまとめたりするのが難しいです。しかし、皆の個性がうまく噛み合えばよりよいものを作ることができると思います。

2つ目は「ふるさと西尾のPV作り」です。僕のチームは皆が積極的に行動することができました。PV作りに関する作業をしているとき、チームメイトが「手伝うよ」や「何かできることはないかな」など、声をかけてくれました。そこで学んだことは「自分のやってほしいことを相手に明確に伝える」ということです。具体的に伝えることで、相手は自ら行動しやすくなります。これからは皆が自分のやるべきことを理解して、協力して目標を達成したいです。

PV作りで学んだことはこれだけではありません。PVの内容を考えると、意見が食い違ったり、時間内に完成できるのか不安があったりしたけれど、皆が本気で取り組んだことで満足のいく作品ができました。審査の結果、3位に入賞できたことはとてもうれしかったです。また、この気持ちを仲間と共有できることが、一人のときよりもさらにうれしいと知りました。学校でも、この気持ちを皆と味わうために、クラスや学年対抗などの行事に全力で取り組みたいです。そうやって達成感を味わうことができれば、がんばることの楽しさがわかり、次へのモチベーションにもつながると思います。

以上の2つの学びから、僕のこれからの課題を考えました。それは「皆をうまくまとめる力」をつけることです。クラスや学年には個性がたくさんあり、意見の食い違いや対立も起きます。しかし、よりよいものにしていくためには、それらの意見をうまくまとめ、皆の気持ちが高まるような声かけをしていくことが重要です。この課題を達成させ、クラスや学年をさらによくしていくために、これからも「自ら積極的に行動する」ということを大切にしていきたいです。

一人一人の個性を大切にするために

吉良中学校

私は、リーダーとして大切なことや自分に足りないところを明確にするために、このリーダー養成塾に参加しました。各中学校のリーダー29名の目指すリーダー像は違うけれど、目標に向かって一緒にがんばろうとする仲間と協力したり、ときにはグループ同士で対立したりするなど、多くの経験をしました。その中で、特に印象に残っているプログラムは2つあります。

1つ目は、「森の生き物たちの知恵を学ぶガイドウォーク」です。動物によって暮らし方や食べるもの、そして生活環境が違うことについて学びました。「カモシカ」と「日本シカ」では、耳の形や毛の長さ、爪の長さなど「シカ」というくくりでは同じなのに、群れで行動する「日本シカ」と、単独で行動する「カモシカ」の違うところを観察できました。私たちも人によって生き方は違い、考え方も違います。気が合わないから仲間外れにするのではなく、一人一人の個性を大切にしていきたい、そして私たちも変わろうとする力を大切にしていきたいと深く考えさせられました。

2つ目は、「ふるさと西尾の魅力を伝えるPV作り」です。私たちのグループは、西尾の歴史についてまとめ、未来と過去を旅するというストーリー性のあるPVを作りました。第1審査までは順調でしたが、第2審査までの間がとても苦労しました。どうすればいいのかわからなくなってしまい、話し合いがあまり進みませんでした。しかし、自分の考えを伝えて、グループの皆はどう思っているのかを理解することで、全員の意見を取り入れることができました。意見のすれ違いが起こってしまったこともあったけれど個性を発揮し、西尾の歴史についてのPVを作ることができ、とても良かったです。

今回の経験を通して、私は皆の個性を生かすためには、「自分の意見や皆の意見を理解する」ことが大切だとわかりました。ただ意見を聞くのではなく、「なぜそう思ったのか」を尋ねることで、意見がまとまりやすくなることを知りました。リーダーとして大切なことは「変わろうとする力」、そして、「尋ねる力や最後までやり遂げるための行動力」だとわかりました。これからの学校生活でもそれぞれの価値観の違いを理解することで、一人一人の個性を大切にしていきたいです。今回学んだことをもとに、どんなことでも積極的に挑戦できるようにがんばります。

個性と仲間の尊さ

吉良中学校

リーダー養成塾が近づくとつれて楽しみが増す一方、仲間と絆を深められるだろうか、本当にリーダーとして4日間を過ごすことができるのだろうかという不安も増していきました。

当日を迎え、さまざまなプログラムを行っていくと、仲間との距離もすぐに縮まりました。そして、プログラムを通してリーダーとしての資質だけでなく、仲間の大切さや個性を尊重することの大切さを学びました。中でも、特に印象に残っているプログラムがあります。

1つ目は「ガイドウォーク」です。白川郷では、厳しい自然環境の中で生き抜くための知恵や工夫があります。白川郷で見た樹木は、雪の重みで根元が曲がっているものばかりでした。そこで人々はその根元の曲がった部分を生かし、梁として使うことで、頑丈な家を造るそうです。また、野うさぎは白い雪景色の中、天敵に見つからないように毛の色が白くなることを知りました。厳しい自然環境の中で生き抜くためにはどうしたらよいかを考え、上手に暮らしていることに感心しました。この先、私も社会に出ていくときに周りの環境に適応していくことが必要になると思います。そこで周りに流されるのではなく、自分の力で、乗り越えることで強さを身につけ、周りからも信頼される人になりたいと思いました。

2つ目は「西尾のPV作り」です。チームの仲間たちとアイデアを出し合うことで、一人ではわずかなアイデアしか出なくても、仲間と情報交換をすることで、思いもよらないアイデアがいくつも出てくることを実感しました。皆でアイデアを出し合い、それらを形にすることで、とても思い入れの強い作品を作り上げることができました。

私の目指すリーダー像は、仲間も自分も大切にできるリーダーです。今回のリーダー養成塾では、意見が食い違ったり、壁に当たったりすることもありましたが、仲間と一緒に挑戦して、苦しみながらも最後に達成できたときには、一人では見ることのできない最高の景色を目にすることができました。

これからの人生、さまざまな場面で苦難が訪れると思います。しかし、この4日間の濃密な時間の中で学んだことを生かし、乗り越えていきたいです。そして、これからもリーダーとしてさらに成長していきたいです。

「人」としても成長させてくれたリーダー養成塾

幡豆中学校

僕は、「一人一人のことを気かけられる協調性のあるリーダー」という目標を胸に、このリーダー養成塾に参加しました。その中で、特に自分の心に残ったことや、今後自分が大切にしていきたいと感じたことが2つあります。

1つ目は、困ったり難題に直面したりしたときには、物事の見方を変えてみるということです。相互理解の深化で、みんなで腕を組んで立ち上がることに挑戦したときに、人数が増えるとうまく立ち上がれなくなり、さまざまな意見が出て収拾がつかなくなってしまいました。そのとき、けがをして外から様子を見ていた仲間が、「円ではなく形を変えてやってみたら」と意見を言ってくれました。実際にやっている自分たちとは違った視点からの意見を取り入れることで成功にたどり着くことができました。それまでは自分だけの意見でしたが、さまざまな視点で物事を見ることの大切さに気づくことができました。

2つ目は、意見を出しやすい明るく楽しい雰囲気を作ることです。PV作りでは、絵コンテや撮影、編集など全ての作業を1から行いました。はじめのうちは、緊張や不安もあって、一つ一つの作業が難しいと感じていました。しかし、常に声をかけ合いながら作業を進めるうちに、自然と緊張が解けて、作業も楽しみながら取り組むことができました。発表当日は、自分たちが伝えたいと思ったことが表現でき、1位が取れてとてもうれしかったです。このような結果が出せたのは、仲間とともに明るく、楽しい雰囲気づくりを心がけたことで、意見が伝えやすかったり本音で語り合ったりすることができたからです。仲間と協力して1つのことをやり遂げるには、このチームワークと雰囲気作りがすごく大切だと感じました。

僕は、このリーダー養成塾を通して、リーダーとしてだけでなく、人としても成長できたと思います。「一人一人のことを気かけられる協調性のあるリーダー」という目標のリーダー像により近づけるよう、日常生活でも学んだことを意識していきたいです。そして困難に直面したときには、いろいろな見方をすることで、自分なりの考えを出すだけでなく、一人一人の意見を尊重して仲間と共に乗り越えていきます。今よりもっとよいリーダーになれるように、日々仲間たちと切磋琢磨していきたいです。

理想のリーダー像へ一歩ずつ

幡豆中学校

私は、「自分の目指すリーダー像に近づき、自分に自信をつける」という目標をもってリーダー養成塾に参加しました。そのリーダー像とは、周りとのコミュニケーションがとれ、人前で堂々と話せる人です。リーダー養成塾の中で特に成長できたと感じたプログラムが2つあります。

1つ目は、初日に行われた特別プログラムです。このプログラムで、リーダーとして大切なことは「信頼」であることを教育長さんから学びました。仲間からの信頼がなければリーダーは務まりません。仲間に責任感のある姿を示すことで、信頼を得られることを知りました。また、リーダーに必要な2つの「力」も学びました。1つ目は自分を変えていく力です。挑戦することは失敗もつきものですが、失敗を恐れずにチャレンジすることで新たな課題に気づき、乗り越えることによって成長できることです。もう1つは我慢する力です。辛い場面でも最後まで責任をもって行動し、やり遂げることで信頼が得られる、仲間を支えるために欠かせない力だと感じました。

2つ目は、ふるさと西尾PV作りです。私たちのチームでは、西尾城の歴史をテーマに制作しました。絵コンテの第1審査で多くのアドバイスをもらい、修正するときに止まってしまいました。最初は完成させられるか心配でしたが、納得のいくPVを制作するために意見を出し合いました。その意見が膨らみ、形になっていく過程がとても楽しかったです。1位を取れなくて悔しい思いをしました。しかし、目標を達成させるために、一人一人が意見を出し合い、全員の意見を尊重することの大切さを学びました。

私は、このリーダー養成塾に参加することができて本当によかったと思っています。引率して下さった先生方、一緒に参加した仲間たち、トヨタ白川郷自然学校の方々、リーダー養成塾に関わったすべての方々に感謝したいです。

ここで過ごした4日間で、私に足りないことやリーダーとして大切なことなど多くのことを学ぶことができました。目標であった自分の目指すリーダー像に近づくことができ、自信ができました。私はここからがスタートだと思って、学んだことを学校生活で実践していき、理想のリーダーになれるよう日々前進していきたいです。

信頼されるリーダーに

佐久島しおさい学校

僕は前期課程6年生のとき、児童会の会長や副会長を務めました。そのときまでは、リーダー的な役割に立候補したことがありませんでした。初めてリーダー的な役割をすることになり、みんなの考えや気持ちをまとめることの難しさなどを実感しました。この4日間のリーダー養成塾を通して、みんなをまとめる力や自分からすすんで行動する力を身につけたいと思い、参加しました。

研修の中で、特に印象に残ったプログラムが2つあります。1つ目は、夜の森を感じるナイトハイクです。暗闇に目が慣れて、森の中の雪や木々が見えたときは、とてもきれいで感動しました。また、その場に座って森の静けさを感じる中で、自分の気持ちを見つめ直すこともできました。僕は、思ったことをすぐに行動に移してしまうことが多くあります。それは、長所でもあり、短所になってしまうこともあります。だから、これからは自分の考えを落ち着いて見つめ直す時間を作り、先を見通したり、計画を立てたりして、行動できるようにしたいと思いました。

2つ目は、PV作りです。絵コンテを作る中で、2回の審査がありました。1回目の審査を終えたとき、施設の方からアドバイスをたくさんいただきました。その後、アドバイスをもとに、よりよいものにするための話し合いをグループでしました。最初は、どうすればいいのか、みんな悩んでいましたが、チームの人たちと話し合っ、アイデアを出し合うことができました。そして、意見を出し合うだけでなく、「じゃあ、やってみようよ」と声をかけ、みんなでアイデアを形にして完成させることができました。PV発表で2位を取ることができたことも、とてもうれしかったです。

僕は、リーダーにとって大切なことは「信頼」だと考えていました。他校の子の考えや講話を聞いて、「行動力」や「忍耐力」、「心・姿勢、姿、力」なども大切だと、考えが広がりました。また、さまざまなプログラムを通して、みんなをまとめる力や自分から行動する力もついてきたように感じます。これからの学校生活の中でも、話し合いの場で積極的に自分の考えを伝えたり、みんなの意見を引き出してまとめたりするなどして、積極的に行動できるリーダーを目指していきます。その中で、「忍耐力」などを高めたり、行動する「姿」で示したりして、「信頼」を得られるようにしていきたいです。

夢を最も信じているいづれも挑戦!! 困難に挑戦する上には、いかに、いかに
 伊藤 孝生 馬場 龍二 金子 誠 来、心算して生活 夢を大切に 角 飛
 かな個性を、合点する存在 積極的に参加する 原田 寛
 市谷の力を自分に取り入れる 佐藤 健一
 力・安心・心で信頼される
 支えられている 柳木 遥斗
 忘れられない。
 忘れられないリーダーシップも見ける。

この瞬間、この経験、この成長を次に繋げよう!!
 これからも力ケルを意識 志士 史聖
 身をこらぬ 杉浦 陽向
 ナカ力はかけ算 関本 真矢
 いづれも余り!! 高橋 木智
 最高の中学校生活を
 こり上げよう!!
 飛躍 加藤 飛
 凜風 平井 晴

全国を回してみよう!!
 外へ広げて!!
 多生 裕子
 あがとう!!
 小田 博也
 仲間を為し
 自分、河も
 来、か 柳垣 寿



令和7年度 スローガン
 カケル
 ~仲間と共に未来へ~

感謝を忘れない
 仲間と大団円!! 佐藤 健一
 個性を生かす
 名目 杉本 平井 晴
 他山の石 井上 豪将

残り時間を
 行動力 笑ってすすむ!!
 時。思い出し
 感謝 感謝 感謝
 共生、皆に感謝
 光を下さる人が光を下さる人 柴田 高広
 三浦 肇
 自分個性を
 仲間を大切に
 光を下さる人が光を下さる人 柴田 高広

令和7年度
 西尾市中学生リーダース養成塾
 山口夕白川 柳自 敬 敬
 2025.12.25~12.28

